

第9回品川区長期基本計画策定委員会 議事要旨

日時：令和元年12月25日（水）10:30～12:00
場所：品川区役所 議会棟6階第一委員会室

1. 開会 2. 委員長挨拶

■委員長

それでは第9回の品川区長期基本計画策定委員会を開催させていただきます。第1回の策定委員会から、とうとう今日が最終回、これで最後ということになります。大変名残惜しいのですが、今日は最終的な確認をしていただいて、また各委員から一言お話を頂くということでよろしくお願いします。答申を決めていただいた後も議事録には残りますので、どうぞ発言いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは最初に、議事要旨の確認をしたいと思います。第8回策定委員会議事要旨について、資料が事前に配付されておりますのでご確認いただいたかと思えますけれども、内容についていかがでしょうか。修正等のご意見はございますか。

よろしければ、第8回の議事要旨につきましては確認したということで、後日、区のホームページで公開ということで進めてさせていただきますので、よろしくお願いします。

3. 答申素案（案）について

*事務局より資料2、3について説明)

■委員長

ありがとうございました。ただ今、答申素案の案について説明がございました。本日はこの答申素案の案につきまして、皆さまのご確認とご了承を頂いた後、区長に答申ということにさせていただきます。

前回の策定委員会で、今まで皆さんから頂いたご意見等の最終調整につきまして、正副委員長にご一任いただきました。さまざまなお意見がございましたが、それらを踏まえて、全体のトーン調整、あるいは、図表の変更等を行ったものでございます。皆さまがよろしければ、これで答申を行いたいと考えますけれども、いかがでしょうか。

—異議なしの声—

■委員長

ありがとうございます。では、皆さまにご確認、ご了承いただいたと思いますので、お手元の素案（案）としてありますけれども（案）が取れた形になります。この内容で答申をさせていただきたいと思えます。

それでは、答申の時間まで少しだけ時間がございますので、10時55分まで、短い時間ですが、委員の皆さまから一言ずつ頂く前に、今日ご出席の参与の先生方から、議事録、記録には残りますので、答申に当たってこれだけは言っておきたい、あるいは、感想がございましたら、お一言ずつ頂ければと思います。

■参与

全9回の会議お疲れさまでした。この答申には直接入っていないのですが、Key Performance Indicator (KPI) をどのように図っていくか、今後、総合実施計画のところ詰めていくことになると思います。そこは、実際にこれを今後オペレーションしていく上で一番重要なところだと思います。SDGsというのは、全ての項目において測定可能な表が用いられていて、それがアウトプットとアウトカムの違いを明確にし、いわゆる、ロジカルプレマーク、オペレーションしていくときの形が明確に作られているものだと思いますので、それを参考にしながら、各指標を決めていただければと思います。

■参与

私は前回、インフラの立場としてということで少しお話をさせていただいたのですが、今回、人を中心にといったところの関わりという、区民の方たちがどのように動くかといったところも、かなり強く盛り込まれたと思っています。そういった中では、インフラ的な考え方からすると、やはり、いかに計画を推進していくに当たっていかに相互理解を深めるかということと、合意形成といったものをどう位置付けていくのかを、事務局には頑張っていただかないといけないということだろうと思います。区民の方から、今回いろいろな意見が出てきたということが、この基本計画策定委員会で、本当にありがたいことだと思っております。大変お疲れさまでございました。

■参与

昨年度の会議からアウトプット、アウトカムについて議論して、しかも作業部会においても各部会で関係する部課長に来ていただき、私が今まで関わった会議の中で、これだけボトムアップとトップダウンを一緒にやるような会議というのは見たことがなかったので、非常に感激しました。特にアウトカムの部分、私に関わったのは環境の部分ですけども、特に評価しにくいバロメーターがあるのですが、それについても、フランクにせず、きちんと議論したという姿勢は素晴らしいと思います。ありがとうございます。

■参与

皆さまお疲れさまでした。私は地域コミュニティという極めて限定された分野の専門家で、あまりお役に立たなかったような気もいたしますが、精いっぱいやらせていただきました。終わりに臨みまして、二つほど感想を言わせていただきたいと思います。

一つは、地域コミュニティについて、外国人との共生がかなり意識された記述がたくさんあるということに、あらためて感銘を受けております。私は、ヨーロッパというかドイツ中心なのですが、ヨーロッパが通った道を今後我々が通り、企業などでも外国籍の方を受け入れるということになるのですけれども、この方々は、最終的に地域に住むのです。そこで、いろいろなコンフリクションが生まれます、文化が違うわけですから、当然起こります。そういったことを地域の中で調整していくというのは、長い歴史を通じて政策として展開していったという経験が、ヨーロッパにはあります。それをわれわれができるかと考えたときに、品川区の計画で非常に意識的に、外国人との共生という問題が記述されていて、非常に良いと思います。

もう一つは、今後の地域コミュニティの在り方、活動ですが、やや専門性の高い活動が求められていると予想しています。そういう調査結果もあります。特に福祉分野では専門人材、専門機関が地域に関わるような仕組みが少しずつできつつあり、この長期計画の中にも盛り込まれていると思います。この点も非常に良いと思いますし、ぜひ推進していただきたいと思っております。

■ 参与

大変広範な作業を通して、素晴らしい計画ができたと思います。ただ大事なことは、この計画を絵に描いた餅にしてはいけないので、実際に個々の施策・事業の運用を通して実行・展開していただきたいと思っております。そのためには、今いろいろご意見がありましたように、政策評価あるいは行政評価をどうやるかが重要になってきます。最近、内閣府、総務省など中央官庁で、EBPM、Evidence-based Policy Making ということで、根拠・論拠のある政策を企画、立案、実行ということがだいぶテーマになっています。そういう視点で行った施策をより次に反映させるための評価の仕組みをいかに作るかが、それを持続可能な施策展開につなげられるかが非常に重要だと思います。これは、昨日から出生数が減ったというのが大ニュースになっていますけれども、恐らく、国レベルの施策で、相当いろいろな施策が出てくると思います。品川区は子どもが減らない自治体ではございますが、社会全体がかなり少子高齢人口減少社会を迎える中で、直接、間接的に影響があるわけですので、そういう意味での SDGs を含めた形でしっかりとした政策検討をしながら、着実な政策の実行、展開を期待したいと、強く願っているところです。

■ 参与

様々な分野の先生方、あるいは委員の皆さま方とお話の伺うことができ、区全体の取り組みを知ることができたというので、私自身が非常に勉強になった会でした。今、参与のお話にもありましたように、9 ページのところの人口区分を見ていただくと分かるように、ちょうど今、子どもたちが非常に増えているということで、子ども、子育て、それからあと、学校教育をどういう形でしていくかということは、品川では待ったなしの問題

かと思っています。それと同時に、長期計画案という観点でいうと、もう 10 年もたてば、この方々が今度は成年世代になっていって、区の中核となっていくということになりますので、そういうマンパワーをどういうふうに活用していくかという点で、プラスにというかポジティブに考えていくことは重要なのかなと思っています。どうもありがとうございました。

■ 参与

福祉分野で参加させていただきました。大事なポイントをうまく盛り込んでいただいて、うまくまとめてくださったと思っています。ただ、その中で、自立支援という言葉がかなりたくさん出てくるわけですが、高齢者の自立支援、障害者の自立支援、青少年、生活困窮者の自立支援というときに気を付けなければいけないのは、やはり、自立支援というと、「支援を受けずにすむよう支援をする」と捉えられがちなところがあるわけですが、大事なことは、支援を受けながらも、自分の生活を主体的に築いていくことができるようにしていくということです。自分を律するというのも自立支援という言葉を使い始めているわけですが、その自立支援という言葉は気を付けないと、支援を受けている人たちが苦しめてしまう言葉になってしまって、自立支援と言われると苦しいという人たちがいることも忘れず、政策を担当する方々には、この計画を大事に活用してもらいたいと思っています。

■ 委員長

ありがとうございました。参与の先生方には毎回いろいろとご指導、ご意見いただきまして、大変ありがとうございました。

それではこの後、答申に向けて準備等がございますので、いったん休憩をいたしまして、再開してから答申という段取りになります。11 時から再開ということで、いったん休憩に入りますので、よろしくお願いします。

4. 答申

■ 委員長

それでは次第の 4、答申に移ります。こちらの進行は事務局のほうでお願いします。

■ 事務局

区のほうで進行させていただきます。委員長より、区長に答申を頂きます。委員長、区長、中央へお願いいたします。

■ 委員長

本委員会は区長から、品川区長期基本計画における素案策定について諮問を受け、鋭意

審議を重ねてまいりました。ここに、品川区長期基本計画素案を答申いたします。よろしくお願ひします。

*委員長より区長へ答申および素案を手交

■区長

ありがとうございます。

■事務局

それでは席にお戻り下さい。

■委員長

委員の皆さま、それから参与、それから事務局の皆さまのご協力によりまして、素案を区長に答申するということことができました。これまで9回の策定委員会にあたりまして、皆さまからさまざまなご意見を頂いて、ありがとうございます。

■区長

一言あいさつを言わせていただきたいと存じます。

皆さま方のご努力を積み重ねていただきまして、計画を練り上げていただきました。行政というのは当然のことながら、区長の恣意的な思いつきやそうしたもので、勝手に行うものでもございません。区民の皆さまの総意をくみ上げて、そして、その思いを形にして、しかも、財政の裏づけをつくって展開をしていく、これが区の仕事の本質でございます。そういう意味で、本日頂戴しました長期基本計画、これがこれからの区政の大きな指針になり、そしてまた、区の職員、一人一人の方向性というものを明示されたのではないかと思う次第でございます。この計画をしっかりと熟読させていただき、皆さま方の思いを一つ一つ形にしていく、そういう道りを歩んでまいりたいと思っておりますので、どうぞ今後とも、よろしくご指導を賜りますようお願いを申し上げます。本当にありがとうございました。

5. 懇談

■委員長

それでは委員の皆さまから一言ずつ、委員の方全員からお話を伺いたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

■委員

今回の長期基本計画、大変内容の素晴らしい基本計画を作っていただいたと思って、感謝を申し上げます。特に、地域ということであると、地域の1の1、20ページ、21ページに

ございますように、誰もがつながり魅力ある地域社会の実現ということで、10年後を目指す姿でございますけれども、21ページ、1の中黒の一番上、町会・自治会の参加促進と活動の支援という、大変語呂のよい町会・自治会の活動には励みになる文言を入れていただきまして、本当にありがとうございます。20ページにもございますけれども、品川区は3年前に、町会自治会の活動活性化の推進の条例を、既につくってくださってまして、23区または16市、東京都の東京連の会合に行きますけれども、地域活動のための、こんなに素晴らしい条例をつくるなど、取り組んでいるところは、なかなか少ないようですので、これからもこういう取り組みを、積極的にお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

■委員

今回こうした機会を得られましたことを、まず感謝をいたします。前回の長期計画の策定は、住み続けたいまち品川というメッセージに集約されていたと考えています。かつて品川も30万人を切るという、危惧された時期がございました。それから交通の利便性、あるいは再開発が進み、大きく姿を変えて、今では40万人を超える区民がお住まいです。区政の教育あるいは子育てなどの政策の成果である反面、東京一極集中ということもあるのではないかと考えております。今回の長期計画の策定では、品川の未来と夢を語るというメッセージの色合いが強くなったのではないかと考えております。何代も住み続けている品川区民の方、あるいは最近マンションに入居された区民の方、同じ品川でございます。品川を終の棲家とする共同体意識が持てるような、区のこれからの政策に、私は期待をしたいと思っております。

特に、来年はオリンピックの開催がございます。私どもも地域事業でオリンピック、行政のいろいろな機会を通じて実施してまいりました。子どもたちが未来に向かって、あるいは品川区民が、住んでいて非常によかったという実感が持てるように、また、子どもたちの育成を続けてまいりたいと思っております。今回もいろいろありがとうございました。

■委員

私自体こういう大きい会合には、初めて出席させていただきました。それで、長期のこの計画自体、あることを知らなかったのです。ですから、できれば、このような良いものができたのであれば、区民の皆さんにどうやってお知らせして、役所の方の、今、区長がお話になった、役所の方の意識の問題ではなくて、区民の方の意識の問題として、できるだけ宣伝をしていただいて、品川区にいる皆さんが活躍できる場所をつくってほしいと思っております。

■委員

皆さま1年間お疲れさまでした。学校にはいろいろな子どもたちがいるもので、勉強に

クラブ活動に頑張っている子どももいれば、逆にひきこもりですとか、外国籍で日本語がほとんど話せない子どもがいます。そういった子どもたちにも、品川区の皆さんで支援をしていただければ、立派な大人に成長すると思いますので、品川区の皆さんに支援を期待しております。

■委員

まず、事務局の努力に敬意を表したいと思います。大変上手にまとめられたと思います。福祉から出ていますので、ぜひ申し上げておきたいと思うことだけお話しします。福祉の分野では、障害分野というのが一番難しいと思います。高齢福祉などは、自分が年を取ったときにどうすればいいかということから想像力が働くわけですけれども、障害分野というのは、自ら障害者になるわけではないわけですから、そういう点で、区の職員の方々も障害施策に対する理解を深めて施策提案ができるという力を付けるために、ぜひ、現場を持つことをお勧め、期待したいと思います。福祉法人に職員を派遣をすることや身障会館を直営にすることなども含めて人材養成をしていかなければいけないのではないかと思います。

今、これから人口がどんどん減っていく中で、人材不足というのがもう一つありますので、やはり、外国人の人をどうやってこの地域の中の現場で活躍していただけるかということについての検討も、喫緊の課題かと思います。その辺は、今後この計画を展開する中でご検討いただければと思います。

■委員

大変立派な長期計画ができました。会社の中長期経営計画と一緒にございますけれども、これをいかに具体的な政策に落とすかということが、大変重要だと思っております。産業に関しましてですけれども、やはり品川区というのは、産業と住民がバランスよく発展してきていますので、今、産業もいろいろ形が変わってきますが、働くことに関しましても是非ご支援をお願いしたいと思います。

それからもう一つ、先端技術の話、あるいは情報通信技術の話を非常に取り上げていただきましたけれども、やはりここは区も非常に取り上げておりますけれども、やはり ICT というのはお金も掛かりますので、ぜひ道具としての視点ということも忘れないでいただきたいと思っています。区のために利便性が上がるとか、生産性が向上するとか、そういったものを担保した上で、導入すべきだと思っています。ぜひそういった区のためになれるような導入の仕方ということと、あとはぜひ、お金を使って導入を進めるのであれば、区内産業の振興もぜひお願いしたいということでございます。1年間ありがとうございました。

■委員

本当に品川区を代表するそうそうたる皆さま方とこのような会議に同席できましたことを、心より厚く御礼を申し上げます。全ての会議に品川区各セクションの長の方にご列席賜りまして、重ねまして感謝申し上げる次第でございます。

大変勉強になりましたのは、やはり 50 年前と違って、50 年前はみんな、50 人だろうが 100 人だろうが一色に染まる時代だったのですけれども、もう 100 人いれば 100 人の色がある。これだけのメンバーがいらっしやるなかで、本当に勉強になりました。そういうような個性、意見を、会議の貴重な時間の中で収斂させていく、この委員長のテクニックは私自身、本当に大変勉強になりました。委員長、副委員長、本当にありがとうございました。本当に素晴らしい計画ができたと思います。この品川区長期基本計画の下、品川区がますます発展されますことを祈念申し上げまして、私の発言とさせていただきます。1 年間ありがとうございました。

■委員

今回この計画の委員会に出させていただきまして、商人で一番下手なのは、長期ビジョンを考えることができないということで、今日の売り上げどうしようかということに追われてしまうので、やはり、これから先のビジョンのことを考えて商店街も活動していかななくてはいけない。また、この文章の中にも、商店街の賑わいが、地域の中心になって盛り上げていかなければいけないというような形の文言が結構出ております。先のことを考えて、今、区商連では 30 以上の事業を行っているわけでございます。これの中でも、必要な事業、必要でない、あまり必要とされていないものも洗い直して、これからの 5 年後、10 年後の商店街というのはこうあるべき、こうならなければいけないというものも、今、洗い直しているところでございます。

本当に、今回はいい勉強をさせていただいたと思います。ありがとうございました。

■委員

1 年間、出席させていただきましてありがとうございました。大変素晴らしい資料が出来上がったと思っております。

私自身は 1 年間、参加させていただいて思ったことは、2 回前ぐらいの委員会ですか、区民の方から多くの意見が上がってきたということが、とても素晴らしいことだと思いました。私どもの団体が、今年 1 年間色々な政策にどうやって興味を持ってもらい、参画してもらおうかということに取り組んできましたが、そういった意味でも品川区では非常に多くの意見が上がってきたのだなと思っております。

私も、今後 10 年間の計画ではあると思うのですけれども、そういった区民の方々から多くの意見が上がっていくような環境づくりに、これからも貢献したいと思っております。1 年間いろいろ勉強させていただきました。ありがとうございました。

■委員

1年間ありがとうございました。私は働く者の立場からということでお話をさせていただきますと、今回の4つの視点と3つの政策分野のイメージということで、働くことというのは、これから先、切っても切り離せないテーマなのかと考えております。今回は、品川区に働きに来られる方の視点を持つことも入れることが結局できなかったということで、次回に向けて、私なりに勉強してつなげていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■委員

この会議では、ジェンダー平等だとか、男女共同参画の視点からいろいろとご提言をしたのですが、なかなか十分には反映していただけなかった部分があるかとは思いました。ただ、ジェンダー的に見ますと、大変バランスがよく、うまく調整して、計画の中にバランスよくなったかと。特に、最後のSDGsのところでは、メインの柱などが明確になってよかったなと感じております。

ただ、やはり人口の半分を占める女性の問題が柱の一つとして出なくて、平和で人権が尊重され、多様性を認め合う社会の実現という、その中に少し入り込んでしまったというのは、少し残念な気持ちもいたしますが、こちらの、カラーのイメージ図の中には、女性活躍ということが一つの丸の中に出てきていて、きちんと位置付けてくださっていることは少し感じたところでございます。

男女共同参画の第5次の計画、マイセルフ品川プランというのが、ちょうど今年から実施されておまして、ほぼ、この長期計画と時期的には同じでありますので、ぜひ今後、実施の中ではコラボレーションと言いますか、共同していろいろやっていくことができるのではないかと期待しております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

■委員

今回はとてもよい機会を与えていただきまして、勉強になったと思っております。CSRの協議会からということではないのですが、SDGs、ちょうど20年から30年にかけて、非常にこのテーマの中に落とし込めたということは、いいことだと思っております。

ただ私は、これから具体的に、この基本計画がどのようにこの10年間、品川区の区民のために落としていけるのか、そこが非常に大切なところかと思っております。最初にごあいさつをさせていただいたときに、車いす、ベビーカーの話をさせていただきました。品川区大井町、この近辺から駅を含めてですけれども、おそらく車いすやベビーカーの方々は歩きにくいエリアになっているかと。道の幅、そしてそれをつくる方、階段ばかりでスロープがない、このような状況というのが、今現状であるわけです。これから人口が増えていく。そして、高齢化社会になっていく。これを予測している以上は、そういうところをきちんと整備して、人が増えても住みやすい品川区、そして人に優しい品川区という形

で、これは、東京都は人口が全体的に増えていくという仮定が出ているわけですが、その中で、品川区は住みやすいから人が増えている。道路がきちんと整備され、買い物も近くに商店街があって、学校も整備されている。そういう中で人が増え、子どもが増え、家庭が増えていく。こういうことが今後 10 年あってほしい。そして 10 年後、その先のまた 10 年後を見据えた計画があってほしいと思っております。

たまたま少しご縁がありまして、他の区のこのような計画をされている委員のお話を聞く機会があったのですが、その区の方は、どちらかというと、自分たちのところでは、生産年齢の対象の方たちを増やしていきたい。要するに、そこで税金を取っていききたいというお話が出ていました。そういうところもあるのだと。私は品川区でこういうことをやっているとはお話ししませんでしたけれども、そういうことがあるのかと感じる中で、品川区は住みやすい、そして住民に優しい、そういうエリアとしてこの 10 年、これがどう落とし込まれていくのか、楽しみでなりません。ぜひ、よろしく願いいたします。

■委員

5 年 10 年という長いスパンにわたる流れを想定することは自分の中で難しいと思います。その中で、不安という面もかなり感じておりますけれども、文化振興ですとか美術館は文化のプラットフォームということで、地域のコミュニティですとか、教育、それか産業・経済とも交流・結びつき、ニーズも増えるかと思っておりますので、どうぞ皆さま方、ご指導ご鞭撻のほどを、どうかよろしくお願いいたします。

■委員

10 年後を見据えてこの会に出させていただいたのですが、品川区というのは、区民にとって一番身近な政府だと思います。その身近な政府に、10 年後、どういうあるべき姿を、品川区のあるべき姿を描いていくのかということのを頭の中に想像して、この会に出させていただきました。

私はもう観光協会という立場でございますので、観光まちづくり、それから、まちの魅力づくり、先ほどお話がありましたように、住み続けたいまち品川に、少しでも寄与できるような考え方を、この 10 年の計画に落とし込めたいなと思っております。品川らしさとか、それから品川特色のあるまち、そのお手伝いができればいい。10 年後、孫に誇れるまちづくりができればいいなと思っております。以上でございます。ありがとうございます。

■委員

今回の会議に出させていただきましてありがとうございます。主婦をしていますので、こんなところで発言というのがなかなかできなくて、思いもかけませんでした。それから、私は品川区としまして、スポーツ施設が少ないということをお話ししましたが、今オリン

ピックを迎えているいろいろな施設ができておりますが、それを有効活用、今までも有効活用しているのに、またこれ以上、10年間、有効活用というので、スポーツ実施率を上げなければいけないというので、少しどうしたことかと思いましたが、私たちにあるものをきちんと使いながら、子どもや、それから働き盛りの人たちをどのようにスポーツ実施率を上げて、健康で、品川区の方たちになっていただくかということ、これから私たちも全員で考えていかなければいけないと思いました。

私たちスポーツ推進もこれから頑張っていきますので、皆さんご意見ありましたら、ぜひ、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

■委員

1年間ありがとうございました。この会議に出ることで、とてもたくさん勉強することがありました。20年間、品川区で生まれも育ちもしましたが、全然、品川区の事業を知らなかったの、ここでいろいろ知れて、とてもよかったです。

これから私たちの世代が、品川区の未来をつくっていくことになると思うので、この素案をしっかりと浸透させて、よりよい品川区になることを望みます。ありがとうございます。

■委員

私もPTAという立場から、そして4人の子どもの、品川で育てさせていただいていますが、非常に住みやすい町だなと思っております。本当に皆さまおっしゃるように、素晴らしいというか、しっかりとした案ができたと思いますので、これを現実にクリアにできるように、実践できるように、そして、社会情勢はいろいろ変化も激しいものですから、これだけにこだわらず、フレキシブルに対応できるような、そういった柔軟な行政というのをやっていただければと思っております。ありがとうございました。

■委員

10年前にPTA会長をやってから、地区委員や今は学校地域コーディネーターということで、だんだん、いろいろなことに関わってきて10年、もう全然、区のことは分からず、区民公募ということで、ここに応募するときに、何年かぶりに活動が始まって、いろいろ品川区のことを考えたのですけれども、それでも分からなくて、ここに来ていろいろな立場の方がいて、その立場の方からは、いろいろな、一つのことでもいろいろな見方があるのだなということ、いろいろと勉強させていただきました。

せっかくできたので、10年間、これをずっと、そのとおりに行っているのかなというのを、区民として見続けていきたいと思っております。1年間どうもありがとうございました。

■委員

1年間ありがとうございました。私はきっと、ここに区民の公募としているということは、もう少し区民の視点も、私も話さなくてはいけなかったし、そういう期待、区民と一緒につくったということで、こういう枠があるのだらうと思って参加をしました。ただ、いろいろな専門家の方がいて、その方が品川区のことをすごく考えて、ほかの区のことも考えていろいろ勉強された上で、ここまで完成されたものが出てきたことに対して、一般の区民としてどういう、何か好き勝手な意見を言うことではないと思っていて、それがとても心苦しかったし、区民として、ここにポンと参加するということの難しきみたいなことを、非常に考えさせられました。とても勉強にはなったのですけれども、きっと勉強するために呼ばれたわけではないと思いますので、その辺で少し、私は普段ベンチャーで若い人とたくさん仕事をしていて、思いつきで物を言って、それを実行するためにどうするか、失敗してまた変えてというような毎日を送っているの、規模感もスピード感も全然違うところで、どうやったらもう少し貢献できたか。しかし、パブリックコメントに投稿するだけではない、区政の参加の仕方ということ、とても考えていたのですけれども、なかなか力が及ばなかったところがあります。

ただ、皆さんがいて、きっとこれは立派なもののできたのだということが、とてもよかったので、今後これが、どういうふうの実施されるかということ、区民として見ながら、あとどういうふう、これから区政に自分たちが関わられるかということ、考えながら生活したいと思いました。ありがとうございました。

■委員

1年間お世話になりました。ありがとうございました。他の区民委員の皆さんもおっしゃっていましたが、私も全く無というかゼロの状態、議会棟に足を踏み入れるのも初めてというような参加でしたけれども、9回終わってみて、それが1になったのか2になったのか区政との関わり方というものを1年間を通じて勉強させていただきましたし、本当に自分が分かる範囲のことしかお伝えすることはなかったのですけれども、今後はせつかくここに来て体験させていただきましたので、例えば、毎回の会議が終わって自宅に帰ると、家族にこんな話をしたよということを伝えますと、それなりに区民の主人、子どもたちが反応してくるというか、そういったことで本当に末端の話ではありますけれども、ここに参加させていただいた経験を伝えるですとか、コーディネーターをしている学校で、子どもたちと話をしたりとか、今後この10年間の計画がどういうふうに進んでいくのかというのを、一区民として見守っていきたいと思っております。ありがとうございました。

■委員

今まで皆さんのいろいろな意見を聞かせていただいて、とても勉強になりました。区民としてここに来たのですけれども、「区民が健康で健やかに暮らせる品川区を」とあります。

答申の中にも、高齢化対策とか少子化対策とかというものが入っていますので、それを実現していくことが大切だと思います。行政だけで、高齢化とか少子高齢化対策というのをどうこうすることは難しいと思いますので、町会、自治会、団体、企業、行政、これらが協働して、区内のいろいろな課題に対処する必要があると思っています。また、中間支援組織を活用して、いろいろな課題解決を円滑に進められるようにしていくことも必要です。また、首都直下地震とか大型台風など災害への備えも、みんなで協働して準備しておくことも必要です。

あと、日本のSDGs達成状況は世界で15位です。もうちょっと頑張ってもらいたいと思います。17の目標のうち達成できているのは二つです。課題が残されているものは五つです。重要課題が三つ、災害の課題が四つという状況になっていまして、SDGsをあまり知らなかったのですけれども、ここで教えていただいているいろいろ勉強をしたら、日本には貧困はないのかなと思ったら、高齢者とか母子家庭などの貧困があるのです。ですから今後、SDGs課題を解決して、より暮らしができるようにするというのは必要だと思いました。10年後にも、区民が健康で幸せに楽しく暮らしている品川区になっているように、みんなで進めていけたらいいなと思っています。ありがとうございました。

■委員

まずは1年間、本当にありがとうございました。それぞれの分野のプロの方から貴重な意見が出て、これから先の10年間というものの道筋をつくれた、示されたのかなと、感慨深く思っています。

ただ、これをどう実行していくか。これから行政で、実施計画というのが出てくると思っています。私も今回、この会議に参加させていただいた一員として、実施計画に注目をしつつ、10年後、持続可能な社会づくりに向けて、全力を尽くしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

■委員

まず初めに、正副委員長、また、事務局の皆さま、大変お疲れさまであります。今お話がありましたように、私も今後は、この総合実施計画の中で、いかに政策実現をしていくのが重要と考えております。区民の皆さまの多様性、また、時代の流れが速い中で対応していくには、もちろん行政だけではできないと思っています。区民の皆さまが、いかに動いていただける環境整備が重要と考えています。それには、積極的なモデル事業とさまざまな実施していくということをやっていくということが重要と、私は考えています。われわれも政策実現に向け、今後も積極的に活動してまいりたいと思っております。1年間ありがとうございました。

■委員

ありがとうございました。これからの10年間はものすごくめまぐるしく変化することだと思います。先ほども話が出ていましたが、国レベルで出生数が見込みと大幅に違いがありました。これからの10年間、本当に大きくめまぐるしく変わると思いますので、その変化に対応するべく軌道修正できるように、数値目標などを用いて進めていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

■委員

1年間大変にありがとうございました。今回のこの10年間の計画が、SDGsの理念にのっとって位置付けられて、今後これがベースになって、品川区のこの施策が展開をされることを期待いたします。この次の10年間、これまでの10年間とは違う想定外のことが起こり得る可能性が高いと思われるこの10年間の中で、SDGsの理念は、誰一人取り残さないということが掲げられておりますので、ぶれることなく、どのような世代の方も、この品川に住み続けられる、この具体的な実施計画が計画をされることを期待申し上げます。ありがとうございました。

■委員

新たな長計が示されましたが、高齢者福祉と障害者福祉から、福祉という言葉を削除し、町会、自治会などの住民や地域組織を、福祉の担い手に位置付けるなど、これは、社会保障を住民同士の助け合いに置き換えるもので、住民福祉の大きな後退です。また、日本国憲法の理念や地方自治法の本旨は位置づけず、一方で、Society5.0や強靱化など、安倍政権が掲げる方針を強く位置付けるとは、この区政全体が社会保障を後退させ道路や超高層や再開発の推進といった安倍政権と同じ方向だということです。そして、国が進める羽田新飛行ルート計画を受け入れる姿勢も大問題です。これでは、品川区民にとって格差はさらに拡大し、暮らしは壊され、商店街も中小企業も一層状況を困難にするもので、こうした区政の未来に、区民生活の展望や希望は見いだせないと思います。区長におかれては、区民生活の暮らしこそ重視していただき、安倍政権から憲法と地方自治法が保障する住民福祉の向上、羽田新飛行ルート計画撤回という、区民の暮らしを守る防波堤の役割を強く求めて、最後の発言としたいと思います。1年間ありがとうございました。

■副委員長

日程やよんどころない事情で時々お休みを頂くことになりまして、あまり副委員長としての任を果たせなかったことは、誠に少し申し訳ないのですけれども、皆さまのお力によって、このように素案がまとめられたということは、大変よかったと思っております。

特に、この策定委員会の特徴は、この部屋を見てもお分かりのように、非常に人数が多いということがありまして、人数が多い中で、2時間ということになると、実質的には、本当に毎回1分ぐらいしかお話しできないし、事務局も最初にいろいろ資料説明などをし

ますから、ますます、なかなか意見を言ってまとめていくというのは、簡単なことではないと思います。

それから、それぞれの方のこれまでの立場とか、いろいろな関わりとかもありまして、どういうふうに何を発言していいのかということと、区民が多様であるというのは非常にいいことなのですけれども、多様であるということは、なかなか会話をどうやって何をこの場で発言したらいいのか、少し間合いを計りかねるところがありました。そういう意味で、同じ背景の人が集まると、何となく話題も共通するかもしれないのですが、多種多様な、まさに総合計画的にいろいろなことに目配せしようと思うと、いろいろな方がいて、自分はここでこういうことを発言していいのかと、逆に言うと、自分の言いたいことだけを言ってしまうということも起きがちなのですが、この場では、皆さんが間合いを計りながらご発言をされていて、非常に成熟したと言いますか、大変苦勞しながら進めていかれたのではないかなと思っています。

特に、私は区民ではないので、あまり実情もよく分かってはいなかったのですが、皆さんのご発言の中で、やはり、区側が当初というか、通常出してきた3つの柱からオーナメント式に何かどんどん分かれていくという、ツリー状という言い方をしますけれども、そういう話は、区は慣れているというところです。委員の方はむしろそういう、別に何か分類をして、ツリーをつくって見て、眺めて満足するという話では全然なくて、むしろ、どういう視点から、全てについて横割りの視点で、計画をきちんと描けるかどうかということが、今回の委員会の非常に重要な部分なのではないかと思っていましたし、私もその方向で、事務局と打ち合わせするときには、いろいろ強く発言させていただいたということもございます。

結果的には、この資料という形で、三つの分野に対して、四つの視点ということで、横ぐしというか、全体を通じるような視点で見てほしい。これはむしろ、区の職員の方に対するお願いでもある。やはり、個別の事業になってしまうと、自分の仕事はこうだということで、まず、それをきちんとやらなくてはいけないというのはあるのです。しかし相手方である区民からいえば、別に、縦割りといいますか、あなたの仕事だけきちんとやってもらえばいいという話ではないので、包括的に全ての事業にわたって、やはり視点というのを常に持ちながらお仕事をさせていただければという期待がこもっているのではないかと思います。

結果的には4つの視点になったわけですが、私はもう少し細かくしたかったというのを事務局にも申し上げました。ただ、あまり細かすぎると、何だかよく分からなくなっていきますし、これを入れてあれを入れないのはどうだということにもなり、先ほど委員の方からありましたが、男女問題とか男女平等参画の話は大きな柱としてというよりは、1つの中に吸収されてしまったということにはなりますが、さらにこの4つの視点は細かい視点で分かれておりますので、行政の方も、あるいは議会で今後いろいろ考えていかれるときにも、ぜひ、この4つの視点を心の中に止めていただければと思うのが、私

の期待であります。

それからもう一つ関連して、SDGs の話も非常に重要な案件でありまして、この SDGs によって相互対照があるということは、いわばグローバルな議論の中で、品川区がこういうスタンスを取っているということ、プロットという位置付けることができると思います。内向きで、品川区の中だけで通じる議論ではなく、世界に行っても通じる議論でもあるということで、ここはぜひ、区の職員や議員の方が、世界へ行っても恥をかかないような仕組みになるのではないかと期待しています。そうしませんと、国際会議に行くと、日本の話が全然通用しなくて、某環境大臣が、「俺の言っていることが全然通じない」と言って帰ってくるという話になるわけです。あれは内向きの議論だけをやっているから、ああいうふうになるわけです。品川区は、グローバルな社会の中で、SDGs を1つの基準として、視点として踏まえているというのは、非常に重要なのではないかと考えていますので、これも資料として盛り込めたというのは、非常によかったのではないかと考えています。

もちろん、この SDGs が唯一の座標軸ではないので、あくまで1つのスタンダードとしてあるということで、何もこれを丸のみするというのを今回の委員会が目指したわけではありませんが、そういう視点を持っていることを示せたというのは、非常に重要だったのではないかと考えています。

先ほど委員のご発言にもありましたが、SDGs というのは、国連だか途上国の話であって、われわれ先進国には関係ないのではないかとというのが、いわゆる、日本の内向きの議論であるわけですが、必ずしもそんなことは全然なくて、例えば、水一つ取っても今後大変になるというのは、品川区にとって大変になるかどうかはともかくとして、日本全体では水道事業が維持できるかどうかは、非常に今後10年で大変なことになるわけで、決して無関係なことではないわけです。こういう視点を入れられたのは、非常によかったことかと思えます。区の方もこういう、国連で何か言っているけれども、俺たちには関係ないよと思わず、こういう視点を持ちながら、区政運営に当たっていただければと思います。

少し長くなってしまったのですが、この計画は10年計画なのですが、皆さんご発言されているように、今後また大変動が起きてどうなるか分からないし、どうしても日々の仕事に追われてしまって、10年先のことを考えながら仕事するというのは、なかなか難しいと思うのですが、そうであるからこそ、この計画を、ぶれない視点と言いますか、考え方として、ぜひ持っていただければと思います。

ただ、時々、時々の事情は大きく変わるかもしれませんし、大震災がいつ起きるか分かりません。そうであるとすると、この前提は根本的に変わりますが、人間は変わらないので理念は多分変わらないと思うのですが、インフラ関係の話とか、経済の在り方とかはかなり大きく変わるので、そのときには改めて、復興計画みたいな話というのが出てくるということがあります。

ただ、被災地を拝見させていただくと、復興計画というのは、何も準備していないところでゼロからつくるということ、やはり住民の意見もまとまらないので、日ごろからこうい

う計画をしていたという、皆さんのネットワークや経験が、別に災害を期待しているわけでは全くないですが、仮にあったときにも、人的基盤というのは非常に大きな役割になると思いますので、そういう意味でも、今回の計画策定というのは、非常に重要なインフラになるのではないかと思います。

そういう意味で、こういうふうにとまとめたということは、私はほとんど役に立ちませんでしたけれども、非常によかったなと思います。ぜひこれからも、区ではこれを生かしていただければと思います。少し長くなりましたが、これで終わります。

■委員長

どうもありがとうございました。今回の策定委員会のミッションというのは、10年前に策定された基本構想の理念に基づいて、今後10年の長期計画を立てるということだったと思います。10年前に決めた品川区の基本構想は、理念の1番目に、暮らしが息づく国際都市ということで、区民の暮らしを前提として、その暮らしが成り立つためには、品川区は国際都市という目標を設定するという考え方だったと思います。

今回「未来につなぐ4つの視点と新たな政策3分野による施策展開イメージ」の図表がかなりわかりやすいかと思うのです。4つの視点を設定した中で、最初の超長寿社会というのは、これはやはり時代をかなり象徴していると思いますけれども、中身が、生涯活躍と健康寿命の延伸ということで、やはり、今の人々の問題意識というのを反映したかと思えます。

それから視点の2つ目に多文化多様な生き方とあります。これもやはり10年前に比べて日本の社会全体が成熟してきて、こういったお互いに多様な価値観とか、多様な生き方を認めるという社会になってきた意識を反映しているものだろうと思います。

あと、4つ目の視点として、先端技術の活用。これもやはり急速に、いわゆる、今までは高度情報化社会という言葉でくくられていた言葉が、それを生活に生かしていくという時代になってきているということで、恐らく10年後には、車の使い方や何かも相当変わっていると、みんな思っているということだと思うのですけれども、そういったことを反映して、基本構想は変えないといいながらも、かなり具体的なところで、踏み込んだ計画の答申という形になったかと思えます。

それから、品川区の特徴というのは、私は都庁に長いものですから、23区の中で品川区あるいは東京都の62区市町村の中で、品川区という特徴を考えるのですが、たくさんあるのですけれども、やはり昼夜間人口比率が高い。とてもいい商店街と、とてもいい住宅地があるのですが、昼夜間人口比率が150近い。つまり、夜間人口に比べて、昼間は50パーセント近く人口が増えている。そういう、皆さんが働きに、学びに来ている。そういう都市だというのが、一つの特徴なのと、それから、交通の結節点になる。東京のだけではなくて、全国の交通の結節点になる。これも江戸時代以来の特徴なのだと思います。

もう1つ、今回1年近く、基本計画の策定委員会を続けて、あらためて感じますのは、

この委員会とはとても人数が多いという話がありましたけれども、確かにそうで、でもこういう中でお互いに意見がかみ合うと、もちろん価値観が違うのでいろいろな意見があるのです。あるいは、特に長期基本計画で、何を重点にするかということについては、それぞれ意見があるのです。でも、それがかみ合った議論ができるというのが品川区の特徴で、これはやはり、よく23区の中では、教育の品川とか、福祉の品川とかいうのです。同時にまた、自治の品川でもある。つまり、ここで意見がかみ合うということは、それぞれの団体やそれぞれの地域やそれぞれの区政の場面で、率直な意見交換がなされている人たちが集まっているということでもあるので、それについては、自治の品川という特徴があったかと思います。

私は単なる司会役でしたけれども、司会役をやらせていただいて、大変興味深かったと思います。実は、皆さんが何を言ったかというのは議事録でも公表されているのですけれども、私はここに9枚の紙を持っていて、誰が何を言ったか全部一言ずつ私は書いてありますので、そういう意味では、私は司会役に徹したつもりなのですが、実に多くの意見を、今まで語っていただいています。とてもいい会だったと思います。感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

ということで、区長、そういう思いで書ききれなかったことを皆さんに語っていただきましたので、よろしく願います。区長、何かございますか。

■区長

ありがとうございます。御礼を申し上げたいと思います。皆さま方、委員お一人お一人、貴重な時間を割いて、この計画作りにご尽力を頂きましたことを、心から御礼を申し上げたいと思います。

計画を作っていただきました。これからは、私どもがその計画を実行する場面でございます。得てして計画というのは、これができたか、わあ、よかった、よかったと言って、本棚の奥に仕舞い込んで忘れてしまうということが、往々にしてあるわけでありまして、そういうことは絶対許されないわけでありまして、皆さま方の英知を結集したこの計画を、しっかりと実現をしていく。これが品川区役所の役目とっておりますので、頑張ってまいりたいと思います。

時々、あれどうなった、あの計画どの辺まで進んでいると、いろいろとご指摘を頂ければ大変にありがたいと思う次第でございます。本当に長期間にわたってご検討いただきまして、ありがとうございました。頑張ってまいります。区役所も一生懸命、その計画の実現に向けて走ってまいりますので、どうぞよろしく願います。本当にありがとうございました。

■事務局

それでは今後のスケジュール、作成スケジュールについてご案内をいたします。本委員

会で本日いただいた素案答申をもとに成果指標等の検討を進め、年度内に完成を目指してまいります。皆さま1年間にわたり、計画策定にご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。事務局からは、以上でございます。

■委員長

では、これで終わりとさせていただきます。皆さん大変ご協力を頂いてありがとうございました。これで終わります。

6. 閉会

以上